



子どもたちの笑顔があふれる学校に

校長 疋田 敦士

新入生19名を迎え、全校児童生徒62名で新年度がスタートしました。新入生はもちろん、子供たちは学年が一つ上がり、やる気に満ちあふれた表情を浮かべていました。新しい友達や先生方との出会いを楽しみながら、新しい環境に早く慣れ、自分らしくそれぞれの力を伸ばして欲しいと願っています。

さて、本日の入学式では、きらきらと輝く新入生の皆さんに次のような話をしました。

新入生の皆さんは、今日の日を迎えるにあたり、入学したら附属特別支援学校で、たくさんの友達といろいろな活動をして楽しみたいとか、自分の将来に向けてこんな力を身に付けたいとか、様々な夢や希望を抱いたことでしょうか。そんな皆さんへ、私から二つのお願いがあります。

一つ目は、「毎日元気よく学校生活を過ごしてほしい」ということです。元気よく過ごすためには、体の健康もちろんですが、心の健康も忘れないでください。そのためにも、早寝・早起きなどの規則正しい生活や食事をしっかりとること、また適度に体を動かすことを大切にしてください。そして、学校に来たら先生や友達と元気よくあいさつを交わし、気持ちよく一日をスタートさせましょう。

二つ目は、「いろいろなことに自分からチャレンジしてほしい」ということです。これから新しい学習や体験が皆さんを待っています。楽しみな気持ちもあれば、自分にできるかなと不安な気持ちになることもあるでしょう。そんな時は、自分の可能性を信じ、まずは一歩踏み出すことを大切にしてください。最後まであきらめずに、粘り強くチャレンジし続けることで、できることが増え「自分にもできる」という自信が湧いてきます。

令和4年度も引き続き、感染症への対策をしっかりと行いながら、子どもたち一人一人の気持ちに寄り添い、笑顔があふれる学校づくりを進めてまいります。どうぞ、一年間よろしく願いいたします。

